

ひたちなか市初のNPO

ひたちなか市初のNPO 生活支援ネットワーク「こもれび」

生活支援ネットワーク「こもれび」とは、介護を必要とする人々に気軽にそして迅速にサービスを提供するためにつくられた、特定非営利活動法人（NPO）です。新しい団体で今年の8月に立ち上がったばかりです。主な仕事は日常生活支援、福祉介護相談、デイホーム運営、移送・移動サービスなど多岐にわたっています。現在、会員は20名ほど。専門の方もたくさんいて、非常にレベルの高いサービスが期待できます。また主な事業内容のほかに、啓発事業として映画会などを企画したり、人材育成なども手がけていくということです。



NPOにした理由

代表の榎田 美紀子（うめだ みきこ）さんは社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員などの資格をもっており、福祉の現場職員として働いていました。様々な人たちとの出会いの中で、「必要とされるときに要望に応えられない」、「制度の枠だけでは十分なサービスを受けられない」などの声をたくさん聞いてきました。地域の中で、みんなが住みやすく、あたりまえの生活をするための支援ができないかと、仲間と一緒にNPOをつくる決心をしたということです。

なぜNPOなのかという質問に、「社会的に認められた団体ならば、皆さんから信頼してもらえることができる。地域の誰もが参加でき、活動の輪が広がる」と榎田さん。また、「『こもれび』を運営していくには、市民の皆さんの協力が不可欠。たくさんの方に『こもれび』を知ってもらい、みんなで『こもれび』を盛り上げていきたい。」と話していました。



「こもれび」代表・榎田美紀子さん

明るい環境

活動拠点は、市内東大島の住宅街の一角にあり、9月30日（日）にNPO法人登記完了の確認のための全体会が行われました。会員のほか、協力したいという人たちも多数参加。集まった方々は、明るく希望に満ちていました。また、「NPO法人として立ち上がったことはうれしい。しかし、今後の運営で大変なことも多いと思う。みんなで協力し合ってがんばっていきましょう。」という榎田さんの言葉に、会員の皆さんは決意を新たにしていました。

システムについて

「こもれび」は、利用したい人も活動する人も同じように会員になります。みんなが同じ視点で助け合い、「協働」することが重要だと榎田さんは言います。また、会員になるのに特別な資格や知識は不要とのこと。介護福祉士のような専門家もたくさんいるので、安心して参加できます。

お問合せ

NPO法人
生活支援ネットワーク こもれび

〒312-0042
茨城県ひたちなか市東大島1-22-15
TEL/FAX 029-273-8897

NPOとNGO

NGOはNon Government Organizationの略で、「非政府組織」と約され、国連憲章の中で使われている言葉です。NPOの中でも地球環境保全や国際平和など国と国にまたがる地球規模の問題に取り組む団体のことを指して使われますが、基本的にはNPOと同じです。